

支援金 170 万円を届けてきました。

MMCC サポーターの会費 1 口 300 円 合計 787 口 ¥236,100
アフガンチャリティカレンダー 2008 売上金から ¥1,480,243

ご協力ありがとうございました！！

アフガニスタンに支援金を持って行くときに、いつも思い出すことがあります。初めてアフガニスタンに行き、何か自分ができることはないだろうか……。そう思うだけでなにもできなかった自分です。自分の生活もあるし、就職したし、休日も取れ

ないし。もう一度行くなんでできないし、お金ないし、英語できないし、時間もないし……。今思うと、言い訳ばかり。やってやれないことはない！と、パソコンでプリントアウトしたポストカードを、都内の駅前に並べて売ったりしました。そのころ学んだことは、お金をつくるのは本当に難しい、ということ。だけど、前に進むしかない。アフガニスタンにいる友人たちから届くメールは、私にそう伝えてくれました。足と頭を使って、ポストカードだけ

で 80 万円を 2004 年に現地に届けた。最初の渡航費カンパをもらったのもこのとき。帰国後、カレンダーの企画を立ち上げた。印刷会社に勤める友人と春日部のマクドナルドで相談し、2ヶ月後に完成。制作と事前の売り込み。160 万円を送ることができた。今までに送った合計も 800 万円を超えた。だけどね……。全然足りない。どんどんどんどん、他の支援グループが撤退していき、今では現地で会いに行く人も減った。この国はこれからどうなっていくんだろう。MMCC のスタッフや子どもたちは、とにかく楽しくアフガン全土を駆けめぐり。夢と笑い、教育を届けるために。だけど、その一方で、未だにたくさんさんの痛み、悲しみ、苦しみが生み出され続けている。世界の 7~8 割の麻薬を生産し、子どもたちは街の中で麻薬の売人をしている。子ども兵士の数も世界一といわれる。はてさて。私たちに一体全体何ができて、ホントにそれが力になれるのだろうか。日本にいるときの方が弱気だな。アフガンにいる友人たちは絶対にあきらめない。私が日本をあきらめないように、彼らはアフガニスタンをあきらめない。よっしゃ。こんな小さな地球の上で一緒に暮らす仲間がいるんだから。もちょっと頑張ってみようかね。やれることならやればいい。やれないことなどない。次回のアフガン渡航に向けて、メンバー募集中です。

MMCC サポーターを募集しています！

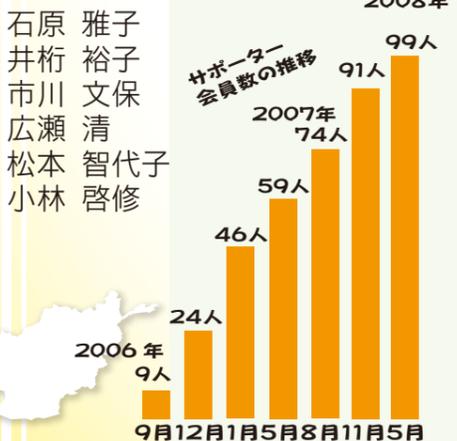
会費は 1 口 300 円/月です。全額がアフガニスタン MMCC に送金され、現地の活動に役立てられます。サポーターには、年 4 回、現地の様子を伝える「MMCC ニュース」をお届けします。また、カレンダーやポストカードといったサポートグッズのご紹介や、関連イベントのご案内も一緒にお届けいたします。ニュースの発行や、送金手数料、郵送料は「みんなの夢の音楽隊」が負担しています。

あなたもサポーターになりませんか！？

みんなの夢の音楽隊は、内部活動グループとしての JAPAN-MMCC を継続し、これからもアフガニスタンの子どもたちとの交流や、活動の連携を続けていきます。アフガニスタンの治安状況は悪化の一途をたどり、日本で見聞きすることはどれも残念なニュースばかりです。しかし、子どもたちの役割は、戦争に参加することではありません。戦争をやめさせることは大人たちの役目です。子どもたちは、将来の世界を楽しいものにするために、今を大切に楽しむことが仕事です。そして、その楽しさを、よりたくさん子どもたちと共有することが、彼らの役割です。そんな子どもたちをサポートすることが、MMCC をはじめ、みんなの夢の音楽隊の役目だと思います。今後とも、みなさまのご支援・ご協力・ご声援♪どうぞよろしくお願いたします。

理事長：今川夏如

2007 年 12 月～2008 年 5 月 ご入会のサポーター♪



石原 雅子
井桁 裕子
市川 文保
広瀬 清
松本 智代子
小林 啓修

NPO 法人みんなの夢の音楽隊 会員募集中

NPO 法人みんなの夢の音楽隊は、会員の皆様の会費によって運営されています。
私たちの活動に賛同し、協力して下さるメンバーを募集しています！

正会員	年会費 1 口 10,000 円	毎月 1 回ニュースをお届けします。活動を支えてください♪
賛助会員	年会費 1 口 3,000 円	毎月 1 回ニュースをお届けします。
団体賛助会員	年会費 1 口 10,000 円	共同企画事業を行います。会員割引の適用が受けられます。
MMCC サポーター	月会費 1 口 寄付 300 円	年 4 回 MMCC ニュースをお届けします。※全額現地送金。
※メールアドレス	1アカウント 3,150 円/年	

お問い合わせ TEL 048-783-5771 FAX 048-783-5772 info@yumeuta.com
郵便振替 00160-8-352345 特定非営利活動法人みんなの夢の音楽隊

MMCC ニュースに関する感想・アイデア・ご意見をお寄せください。お待ちしております。



特定非営利活動法人 みんなの夢の音楽隊
〒330-0053 さいたま市浦和区前地 2-11-2
TEL 048-783-5771 FAX 048-783-5772
発行人 JAPAN-MMCC 代表：今川夏如
年 4 回発行 (2 月 5 月 8 月 11 月)

Afghanistan Mobile Mini Circus for Children

2008 年 6 月 1 日 (Vol.5&6)

あなたが支える子どもから、子どもたちへ“夢”と“笑い”と“教育”を届ける！



カブール MMCC カルチャーセンターを紹介します♪

2004 年 10 月に開設された MMCC カルチャーセンターは、開設当時、見取り図中央左上の小さな建物だけでした。その後、上の壁際から小さな教室が増設され、すぐに左側の新しい敷地を追加し、5 つの教室を増設。一番右側にある武道場を建設したものの、子どもたちの人数に対してスペースが足りず、右上にある体育館を建設しました。常設のステージを建設し、地面をタイル張りに。土の地面ではジャグリングの道具もすぐ汚れてしまうし、天候によってはなにもできなくなってしまいうからです。同様に雨天や雪の季節でもトレーニングができるグラスハウスが新たに建設されました。

本号では 2008 年 1 月～2 月におこ

なわれたウィンタープログラムについて、日本のサポーターのみなさまにお知らせするほか、見取り図をご覧ください現地のたのしい様子を感じてもらえれば嬉しいです。

2008 年 5 月 2 日～5 月 23 日まで渡航

8 回目のアフガニスタン渡航から帰国し、MMCC ニュースの製作に取りかかりました。当初、2 月に予定されていた渡航が、さまざまな理由で 3 回も延期され、予定されていたメンバーも変更になりました。ニュースの発行が遅れ、2 回分を 1 度にお届けいたします。どうぞご了承ください。

今回の渡航は、バーミヤンで新拠点の設置作業を行い、MMCC にとって新しいプロジェクトがはじまった歴史的な日がありました。次号で、バーミヤンの特集をお届けいたします。今回の渡航に際し、たくさんのみな



▲バーミヤンの新拠点

さまから、渡航費カンパのご協力をいただきました。本当にありがとうございます。裏話も含めた渡航報告書を近いうちにお届けいたします。どうぞお楽しみに！



※渡航した▼小浦貴史

ウィンター プログラム 2008 特集!

MMCCでは毎年、雪に覆われ移動が困難なこの時期にカブールでトレーニングを行います。この時期のカルチャーセンターは、普段アフガニスタン中に散らばっているスタッフも全員集合。最大500人もの子どもたちにさまざまなプログラムを実施することができます。まず子どもたちは将来の夢や願いを紙に書き、風船にくくりつけて空に放しました。これからその夢に向かって努力することを、知らないだれかさんと約束したのです。風船が空に消えるまで、ずっと子どもたちは空を見上げていました。



みんなでつくる カルチャーハウス

この季節は、スタッフのトレーニングもかねて、いろんな作業をします。日中は子どもたちがいて忙しい時間を過ごしていますが、子どもたちが帰ってから、スタッフはいろんな作業をしています。それぞれが思い思いに、必要だと思うモノを作ったり、子どもたちに「これがいいんじゃないか。」というものを作ります。これはプロジェクト

MMCCってなに?初めて聞いたよ?なにをやってるの?という方へ!

日本のみならず!初めまして!アフガニスタンMMCCです。わたしたちはアフガニスタンで設立されたNGOなので、海外に母体を持っていません。しかし、最初からのメンバーの中に、デンマーク人と日本人がいました。その後不思議な縁で、日本にたくさんのトモダチができました!このニュースは、そんな日本にいるトモダチが私たちの活動を紹介するために創ってくれたものです。せっかく読んでいただい

女性向け教育 プログラム♪ 担い手の育成も



▲音楽基礎クラス&歌唱クラス▲



▲選抜音楽クラス



▲女性のためのスポーツクラス

アフガニスタンでは、女性向けのプログラムは、女性にしか担うことができません。MMCCでは、女性や女の子向けのプログラムを実施しつつ、女性の権利向上や、教育的なプログラムの担い手を



▲小鳥のえさ台づくり

トというよりは、だれもがこのカルチャーハウスを、もうひとつの自分の家のように感じているから、自然と行われている日常的な作業といった感じ。次の日、子どもたちが喜んでる姿を見て、ちょっとうれしそうにしている先生たちが印象的です。

育成しています。特に、選抜音楽クラスや、スポーツクラスは、いままでに無い試みとして注目されています。その成果は女性の能力を証明する非常に有効な手段となっています。

子どもたちが新しいことを学ぶ際に重要なのが保護者の理解です。アフガニスタンでは、女性が高等教育を受けることや、家事仕事以外の能力を身につけることに、非常に抵抗を感じる大人がたくさんいます。首都カブールでもその傾向ははっきり現れています。様々なプログラムを通じているんなことができるようになった子どもは、他の子どもに比べ表情が明るく自信に満ちあふれているため、とても魅力的に見えてしまいます。たとえ年齢が低くても、周囲のおとなが「この子はもう大人だ。」と判断してしまうと、家から出さなくなってしまうことがあります。せっかく得た知識を活かす機会を失ってしまうばかりか、他の子どもたちも自分の将来に失望してしまうでしょう。学び続け、可能性を広げること、少しずつではありますが、女性自身の権利意識の向上を促し、より可能性のある将来を選択できるようになることを目指しています。



▲料理クラス&ソーイングクラス▲



▲母親が参加できるプログラム



▲地球儀などの模型づくり

移動サーカス (モバイルサーカス)

アフガニスタンの地方の村々を回り、教育的な内容のパフォーマンスを行い、字が読めない子どもたちにも、平和教育、衛生教育、地雷回避教育といった生活に必要な知識を伝えていきます。*写真は「手を洗おう!」

ミニキッズ プログラム



▲体力向上・アクロバット



▲指導者も12~15歳の子ども



▲アフガニスタンの地理と文化

地域の大人たちに 褒めてもらおう!

なんとといってもまだ子どもです。大人に褒めてもらえたらうれしいじゃないですか。なによりプライドの高い民族、ここぞとばかりにはりきります。ウィンタープログラムの最後は、必ず地域の人たちを招いて発表会をやりませう。もちろんテレビ局の取材もあります。練習から発表までの一連の流れは、アフガン政府が推進する子どもの健全育成プログラムとして放送されています。この発表会の時間は、大人たちがほんとに子どものことだけを考えている時間かもしれません。子どもたちは、「もっと僕を見て!私を知って!」と叫んでいます。治安の悪化も激しく、政情も不安定なこの国で、仕事や暮らしの安全など、落ち着かない大人たちを氣遣い、子どもたちは大人に頼ろうと



▲基礎学習&演劇ワークショップ▲

ここ数年、MMCCでは、小さな子どもたちへの教育プログラムの需要が高まっています。親兄弟だけでなく、親戚同士と一緒に暮らしているのが一般的なアフガニスタンでは、MMCCのプログラムに参加している子どもたちのいる家庭では、小さい頃からMMCCに「遊びに」来ている小さな子どもたちがたくさんいます。このちびっ子たちは、自分も早くいろんなプログラムに参加したくうずうずしているのです。そんな彼らを放置しておく、見よう見まねで練習をしたり、空いている教室で勝手に練習をしたりして、モノを壊したり怪我をしたり、それはもう大変です。それならいっそのことちゃんと教えてあげた方がよい。このスタッフが出した結論は、まさにちびっ子の所業に対する全面降伏でした。大人のスタッフたちは手が回らなくなり、12歳~15歳のヤングスタッフが登壇し、小さな子どもたちの指導に当たっています。いつのまにか子どもたちは自分たちだけで、成長していく手段を手に入れてしまいました。このころから、大人たちは子どもたちが帰った後、秘密の特訓などをするようになりました。なぜなら、大人自身が成長し続けないと、あっという間に子どもに追い抜かれてしまうからです。子どもと大人がそれぞれ高めあえる関係になれたことは、この6年間の最大の成果といえるかもしれません。

専門技術習得

先に書いた選抜音楽クラスもそうですが、高度な専門技術を学ぶコースを用意しています。雑誌編集、映像編集、ラジオプログラム編集など、コンピューターを使い、実際の現場で役に立つ技術の習得を目指しています。MMCCとても良い関係にある、アフガニスタンのラジオ局やテレビ局、出版関係者はMMCCでの高等教育プログラムに協力的で、物資や教材の貸出をしてくれています。そのかわり、MMCCはテレビ局やラジオ局の素材撮影に協力しています。

雑誌編集のプログラム。実際に雑誌を創りあげる作業をすべて行う。

アフガン・アリアナTV局の撮影の様子▼



しません。良くいえば自立しています。けど、ほんとはもっと甘えても良いんじゃないかな。

冬のプログラムは、以下の通り。
スポーツ・初級サーカス・ミニチュア制作・ポエム・音楽・フルート・絵画・演劇・ラジオ・人形劇・基礎学習・一般教養・語学・算数・子どもの人権・世界の地理・歌・コーラン・たけうま・ジャーナリズム・文学・アクロバット・上級サーカス・雑誌編集・装飾・ハンドクラフト・舞台リハーサル・母親クラス・物語創作



キッズ・カルチャーセンター

15の教室を持ち、歌や絵画、サーカス、演劇、アクロバット、格闘技、英語、コーラン、手芸、工芸、文学などのクラスがある。それぞれのクラスで様々な知識や技を身につけ、自身の可能性をのばせるような様々な工夫がなされています。広い中庭では子ども達が自由に遊び回り、叩いたりどなったりする大人はいません。自由な空間は子ども達の創造性を高め、将来の可能性を広げていきます。

ワークショップ 実践! 実感! 実現!

実際に子どもたちの手で何かを創りあげる作業。人形劇や組体操など、かならずひとりではできない、みんなで協力し、助け合わなければならないことをやってみる。社会の中での役割を実感し、異なる部族同士でも助け合うことの大切さを学んでいます。

ティーチャートレーニング (教師養成)

長い戦争で教育インフラの85%が破壊されました。現在も、専門的な技術をもたず教科書をただ読んでいるだけの教師も多いのです。子どもを叩いたり、罵ったりすることも多く、教師の質が大きな問題になっています。子どもに興味を引き出したりオリジナルの教材作りは、MMCCの最も得意とする分野です。各地の教育委員会などで行っています。